

# 活動成果報告書

令和5年度（第27回）「チヨダ地域保健推進賞」

|   |  |
|---|--|
| <p>活動テーマ<br/>身体の健康はお口の健康から！<br/>(口腔ケアヘルスサポートモデル事業)</p>  |  <p>The poster is titled '令和5年9月 口腔ケアヘルスサポートモデル事業を実施します！' (September 2023 Oral Care Health Support Model Project Implementation!). It features a blue and white color scheme with a cartoon tooth character. The text explains that the project, which started in September 2022, aims to improve oral care for the working generation. It lists the project's goals: to raise awareness of the importance of oral care for the working generation and to disseminate information on dental health. It also mentions that the project is being implemented in the form of a school health support project, with activities such as providing oral care support and conducting oral care support for the working generation. A QR code is provided for more information, and the project is noted to be completed in September.</p> |
| <p>グループ名称・氏名(グループの場合は代表者名)<br/>茨城県土浦保健所 健康増進課<br/>代表者：高田 由美子</p>  |  |
| <p>勤務先：茨城県土浦保健所<br/>所 属：健康増進課<br/>所在地：〒300-0812<br/>茨城県土浦市下高津2-7-46<br/>TEL：029-821-5398<br/>FAX：029-826-5961</p> |  |

◇活動方針◇

茨城県では、国が策定した「健康日本21」の地方計画として、平成13年3月に「健康いばらき21プラン」を策定した。平成30年3月には「第3次健康いばらき21プラン」を策定し、「第5章 歯科口腔保健」を「茨城県歯科口腔保健の基本的事項」と位置付け、むし歯や歯周病に関する指標項目が設けられている。

近年、歯や口腔の健康が全身の健康に相互的に関係し、全身的な健康状態の維持にとってむし歯や歯周病を予防することが重要であるとされている。法律で定められている歯科健診は母子保健法では1歳6か月児健診・3歳児健診、学校保健安全法では就学時健診・高校3年生までの学校健診とされているが、働く世代に対する歯科健診実施義務を定めた法律はない。

しかし、歯周病罹患者は45歳以上になると過半数を占めるといった報告があり、年齢が上がるにつれて高くなる傾向があることから働く世代における重大な健康課題の1つである。

また、自身の歯を多く保っている人は、自歯が0本の人にくらべ、寿命が長いだけでなく、健康寿命が長く、要介護状態の期間が短いという報告より、歯や口腔の健康は働く世代のその後の生活にも大きく影響してくるといえる。

このような背景から、当保健所では地域保健と職域保健の連携により生涯を通じた継続的な保健サービスの提供体制を整備することを目的として、働く世代を対象に歯科保健に関する取組を実施することとした。

# 活動成果報告書

## ◇活動内容とその成果◇

対象：管内の企業にて協力の得られた1企業を選定し、従業員224名に対して以下の内容を実施した。

### <活動内容>

#### (1) 講演会の開催

本県職員の歯科医師より、「ビジネスパーソンに必要な歯と口のおはなし」と題して、①歯周病やむし歯について②歯周病の全身の健康に及ぼす影響及び③口腔ケア方法についての説明及び指導を行った。

#### (2) 動画作成及び視聴環境の整備

講演会に参加できなかった社員に向けて動画を作成した。内容は、講演会に沿ったもの。

動画サイト（YouTube）及び食堂内モニターで視聴可能とした。

社員が食堂に滞在する時間は短いため、食事中に1回は視聴できるように動画の再生時間は1回約8分で作成し、昼食時間中に動画がリピート再生するよう工夫した。

#### (3) 口腔ケアグッズの提供

口腔ケアに対するより強い意識付けを行うという目的から、講演会にプラスして全社員に口腔ケアグッズを提供した。提供した口腔ケアグッズは、キャップ付き歯ブラシ、歯磨剤、デンタルフロス及び洗口液。

#### (4) チラシの作成、啓発物の掲示

本事業の取組を記載したチラシを作成し、事業の趣旨や内容の理解を図った。QRコードを入れ込み、動画サイト

（YouTube）より講演会に沿った内容の動画を視聴できるようにした。

また、社員の目に留まりそうな場所に歯科保健関係のポスターやリーフレットを掲示した。

#### (5) アンケートの実施

事前・事後・追跡（実施後3ヵ月）アンケートを実施して回答者の意識・行動等の経時的变化について調査した。



# 活動成果報告書

## <成果>

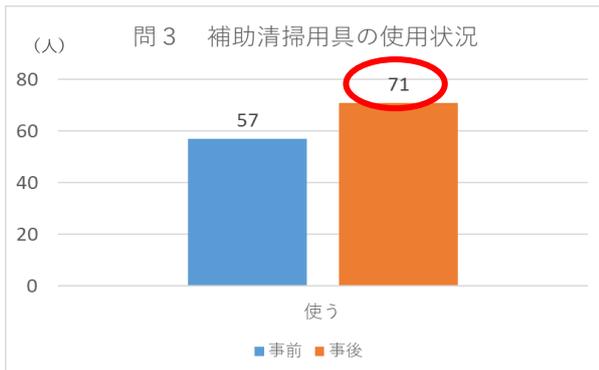
活動内容(1)または(2)により歯周病やむし歯と全身の健康との関係について情報を得た者(138名)に対し、アンケートにより意識及び行動等の変化を確認した(以下)。

### Q1 使用している歯みがき剤のフッ素配合の有無

事前アンケートでは「入っていない」と回答した者が6人いたが、事後アンケートでは0人であった。歯みがき剤を使用している者は皆、フッ素配合の歯みがき剤を使用しているという結果となった。

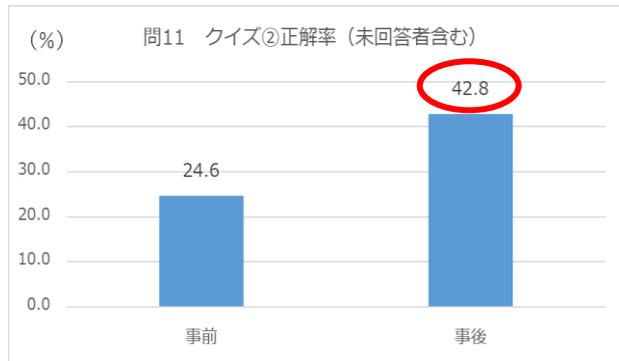
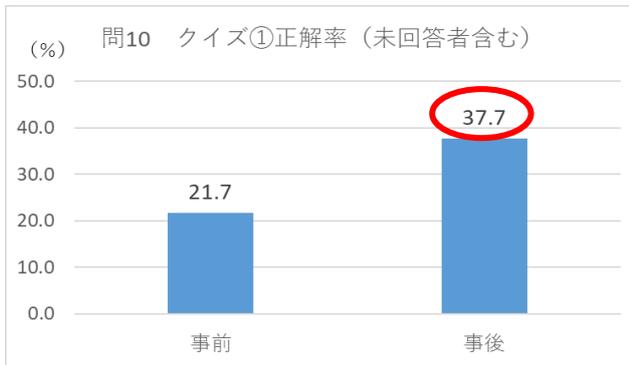
### Q2 補助清掃用具の使用状況

事前アンケートでは「使う」と回答した者が57人であったが、事後アンケートでは71人という結果であり、14人増加した。



### Q3 クイズ(①成人が歯みがきを行う際の歯みがき剤の適正使用量、②歯周病と関係するもの)

クイズ①、②とも事後に正解者が多くみられた。



### Q4 歯科保健に対するモチベーション、健康に関する行動

モチベーションについて、事後では「低い」者が減少し、「高い・ふつう」と回答した者が増加した。また、歯科保健行動についても、事後では「していない」者が減少し、「している」と回答した者が増加した。

## ◇今後の計画◇

### (1) 追跡アンケートの集計

追跡アンケートを集計した結果より事業評価を行う。評価結果より、次年度の実施内容に反映する。

### (2) 事業実施地区の拡大

現在、管内の全3市中1市の1企業で本事業を実施している。今後、他の2市でも実施できるよう調整し、事業実施企業数も増やせるように取組んでいく。